

新潟県

教育月報 3 月号

第 885 号

令和 6 年 3 月 1 日発行

編集人、発行人

新潟県教育委員会

<今月号の記事>

		対象校種
1 : 教育ニュースライン	P 1	全種
2 : WWL (ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築事業	P 2	高校
3 : マイスター・ハイスクール事業	P 3	高校
4 : 令和 5 年度医学科合格のための学力向上スタートダッシュ講座について	P 4	高校
5 : 新潟県高校生 理数トップセミナーについて	P 5	高校
6 : インフォメーション	P 6	全種

教育ニュースライン

県教育に関する最新ニュースをお知らせします。

キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA 団体等文部科学大臣表彰・受賞団体決定

令和 6 年 1 月 25 日、第 16 回キャリア教育優良教育委員会、学校及び PTA 団体等文部科学大臣表彰式が行われました。これはキャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められた教育委員会・学校・PTA 団体等を文部科学大臣より表彰するものです。県内の受賞団体及び実践内容の概要を紹介します。

長岡市教育委員会

『子どもたちの未来のために米百俵の精神の下 オール長岡で創る Web サイト』をコンセプトに『長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」』(<https://www.nagaokapf.jp/>)を独自に構築しました。「こめぷら」をとおして、子どもが職業に関する動画を閲覧し、職業観を育むとともに、市内企業が行う職場体験や職業講話等の情報を基に、教職員による検索や申込みができるようにする等、地域と連携しながらキャリア教育を推進する環境を整備しています。

胎内市立中条中学校

「ふるさとを誇りに思う生徒の育成」を基軸に据え、ふるさとに学び、新たにふるさとを創造する教育の推進に努めており、「まちづくり会社中条中学校社」を立ち上げました。地域の様々な課題に正対し、新たな価値を創造する力を身に付けることを目指し、全校体制で取り組んでいます。

燕市立小池中学校

生徒会本部が中心となり平成 27 年度に立ち上がった「糸半 (いとはん) プロジェクト」による地域貢献活動を行っています。お世話になっている地域の方々への恩返しとして中学生にできることを考え行動し、小池中の良さを地域へ発信することで、表現力とボランティア精神の向上を目的としています。

県立新潟商業高等学校

平成 29 年度から教科「商業」で学んだ知識や技術を活かした実践として、新商 collab (しんしょうコラボ) と称し、葦原祭 (文化祭) において企業と連携した模擬店の運営計画の作成、実践を行っています。企業や飲食店への出店依頼から模擬店の運営を実践する過程で、ビジネスに必要な交渉力やコミュニケーション力、及び主体性、企画力、協働性等の課題解決力の育成が見られています。

社会環境や構造が変化するなかで、キャリア教育の重要性が見直されています。県教育委員会でも夢や希望をかなえるキャリア教育の推進事業で、各校の実践を支援しています。

【受賞学校等の取組の詳細はこちらから】

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/ca_reer/detail/mext_00012.html

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築事業

高等学校教育課

はじめに(本事業について)

WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築事業は、本県が文部科学省から委託を受け、高校や大学、企業等が連携し、高校生に高度な学びの機会を提供するネットワークを構築して、世界で活躍できる資質・能力を有したグローバル人材を育成することを目的としています。

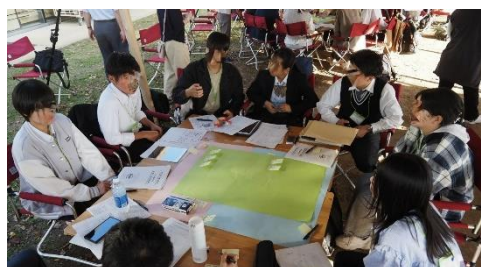
本県では唯一、三条高等学校が本事業のカリキュラム開発拠点校として、「希望に満ちた未来を創るリーダー育成システムの構築～地場産業の町・日本の穀倉地帯からSDGs達成を目指す～」を構想テーマに、その取組を進めています。国内外の連携校等との交流や地元企業等との連携を通じて、地域課題をグローバルな視点でとらえ直し、解決を目指す、課題研究を軸としたカリキュラムの研究開発や実践を行っています。また、海外の連携校とのオンライン交流や国際会議等において、課題研究の成果を発表したり、議論したりすることを通じて、生徒の資質・能力を育成しています。

WWL新潟 高校生国際会議の概要

令和 5 年 10 月 19 日、20 日に、本会議を「三条・大地の学校」と名付け、「同じ空の下、話そう未来の希望を～Under the same sky, let's talk on our SDGs for the bright future!～」を全体テーマとして開催しました。会議には、三条高等学校をはじめ、県内外や海外の連携校等の総勢 150 人を超える生徒が一堂に会し、SDGs 達成に向けた議論を行いました。

1 日目は、三条市にあるスノーピークのキャンプフィールドを会場に、開会セレモニー、基調講演と続き、生徒同士が懇親を深めた後、SDGs に関する 6 つのテーマで分科会を行いました。また、2 日目は、三条高等学校を会

場に、分科会ごとの総括、全体報告会、閉会セレモニーと続き、拠点校の代表者が会議宣言を行い、閉会となりました。



【1日目 分科会での意見交換の様子】



【2日目 全体報告会での発表の様子】

分科会の序盤では、議論が深まらないグループもありましたが、次第に意見交換が積極的に行えるようになり、本県の生徒も研究してきた成果や自分の考えを英語で表明し、意見を交わしていました。

全体報告会では、各分科会の代表者が、作成したスライドを用い、英語によるジェスチャーも交えた発表を行っていました。

おわりに(令和6年度に向けて)

令和 6 年度は、文部科学省による委託期間の最終年度となります。令和 7 年度以降の持続的な取組に向け、引き続き、三条高等学校を中心としたカリキュラムの研究開発、ネットワークの構築を進めていきます。

[お問い合わせ]
高等学校教育課 指導第 1 係
電話 025-280-5611

マイスター・ハイスクール事業

高等学校教育課

はじめに

マイスター・ハイスクール事業は、文部科学省の3年間の委託事業として令和3年度から実施し、令和5年度が最終年度となります。本事業は、デジタルトランスフォーメーション（DX）、六次産業化等、産業構造や仕事内容が急速に革新する産業界と専門高校が、一体となって教育課程開発等に取り組み、地域産業の持続的な成長を牽引する最先端の人材育成システムの構築を図ることを目的としています。

本県では、海洋高校がマイスター・ハイスクールに文部科学省から指定され、株式会社能水商店、糸魚川市、県教育委員会が管理機関となり、「糸魚川の魅力や強みを理解しICT活用やDXに対応できる活力ある地域産業を担う海洋・水産プロフェッショナル人材の育成」に向けて、各コースの特色を生かした教育プログラム等に取り組みました。

主な取組

1 学校設定科目「地域探究」の設置と実践

令和4年度から入学生全員が履修する「地域探究」（2単位）を設置し、生徒は、地元企業や社会教育施設、金融機関等と連携した講義や実習、インターンシップ企業におけるOJT等を通じて、糸魚川市の自然・歴史・文化、水産及び海洋関連産業の現状と課題などを学んでいます。また、校内ビジネスプランコンテストを開催し、アントレプレナーシップを育成する活動等にも取り組んでいます。



【地元金融機関による授業】 【地元企業インターンシップ】

2 マイスター・ハイスクールCEO及び産業実務家教員の配置

本事業では、産業界と専門高校が一体となって教育課程開発等に取り組むことから、産業界からマイスター・ハイスクールCEO（以下、CEOという。）や産業実務家教員を採用し、海洋高校に配置しています。CEOは、事業における進捗管理や学校内外での情報共有、外部との連携など、事業マネジメントを担います。また、産業実務家教員は、企画催事やマーケティング理論の実践支援、新商品の開発に関する支援など、最先端の技術・知識を生徒に教授します。

3 地域課題を解決する探究学習の展開

生徒は、学校設定科目「地域探究」などを通じて身に付けた興味・関心に基づく地域課題等について、個人又グループによる課題解決型の学習活動を通じて、主体的かつ協働的に専門的な知識や技術等の深化を図ります。

資源育成コース	ICTを活用したチョウザメ養殖、アクアポニックスの生産、サケの発眼卵放流など	
食品科学コース	ICTを活用した品質管理、商品開発、アンテナショップによるOMO実践など	
海洋技術コース	漁獲物オンライン販売と販売量向上、実習船オンライン授業の充実など	
海洋創造コース	弁天浜マリンスポーツイベント企画運営、水中ドローンによるもずく生育域の把握など	

【各コースの取組みの内容】

おわりに

本事業から得られた知見等を、専門高校等に広めることで、ICT活用やDXに対応できる、地域産業を担うプロフェッショナル人材の育成に努めてまいります。

【お問い合わせ】

高等学校教育課 指導第2係
電話 025-280-5612

令和 5 年度医学科合格のための学力向上スタートダッシュ講座について

高等学校教育課

はじめに

県教育委員会では、令和 2 年度から、医師を志す生徒の医学部医学科進学希望の実現を図る「医学科合格のための学力向上スタートダッシュ講座」を開催しています。この講座は、医師等による講演や懇談会、予備校講師による教科のセミナーへの参加や、同じ志を持つ他校の生徒と切磋琢磨することをおして、医師を目指す意志と、医学科進学に向けて学習に取り組む意欲を高めることを目的としています。

講座の概要・様子

○参加生徒 県内の高等学校 1、2 年生及び中等教育学校 4、5 年生
17 校 71 人

※ 新潟市立学校、私立高等学校の生徒も対象としています。

○開催期日 第 1 回：令和 5 年 8 月 27 日(日)
第 2 回：令和 5 年 10 月 15 日(日)
第 3 回：令和 5 年 12 月 28 日(木)

○主な内容

- ・ 医師による講演会
- ・ 医師・医学生との小グループ懇談会
- ・ 県福祉保健部による医学部医学科 新潟県地域枠制度等についての講演会
- ・ 予備校講師によるセミナー(現代文、英語、数学)



【医学生との小グループ懇談会の様子】

参加生徒のアンケートから

1 3 回の講座のアンケート集計(延べ数)

- ・ 「医師を目指す意志が高まった」に当てはまるかどうかという質問に、「当てはまる」または「やや当てはまる」と回答した生徒の割合：98.9%
- ・ 「医学科進学に向けて学習に取り組んでいこうという意欲が高まった」に当てはまるかどうかという質問に、「当てはまる」または「やや当てはまる」と回答した生徒の割合：100%

2 参加した生徒の主な感想

- ・ 人のために働くことの素晴らしさがわかった。
- ・ 医師の素晴らしさと挑戦する価値がとても感じられた。
- ・ 医学科の入試や新潟県地域枠のことについてよく知ることができた。
- ・ 医学科を目指す人が多くいて刺激になった
- ・ 地域医療の詳細がわかった今、医師になるということの重要性を再認識できた。

おわりに

参加した生徒の多くが、この講座をおして、医師を目指す意志と、医学科合格に向けて学習に取り組む意欲をより一層高めることができました。

県教育委員会としては、引き続き、医師を志す生徒の意欲と学力向上を図る取組を進め、医学科への進学希望の実現を支援し、将来、本県の医師として活躍する人材の育成に努めてまいります。

[お問い合わせ]

高等学校教育課指導第 1 係

電話 025-280-5611

新潟県高校生 理数トップセミナーについて

高等学校教育課

はじめに

県教育委員会では、新潟大学理学部の協力を得て、数学や理科に関する体験的・探究的な学習活動を行うことをとおして、本県高校生の興味・関心と知的探究心等を育成することを目的とした「新潟県高校生 理数トップセミナー」を開催しています。

理数トップセミナーの概要

令和 5 年度は、11 月 11 日(土)に新潟大学理学部を会場に、「理数学力コンテスト」の筆記競技・実験競技と「数学探究セミナー」を実施しました。今年度は、各学校からの参加チーム数の制限を設けなかったこともあり、過去最多となる、高等学校と中等教育学校後期課程の生徒 30 グループ 172 人が参加しました。

セミナーの様子

「理数学力コンテスト」では、物理、化学、生物、地学、数学、情報の 6 分野の筆記競技と、物理、化学の実験競技に、学校単位のチームで挑戦しました。普段の学校での考査等とは異なり、チームで協力し合って、試行錯誤しながら競技問題に取り組んでいました。

また、今年度新たに実施した「数学探究セミナー」では、数学分野の探究的な課題に取り組みました。解説にも熱心に耳を傾け、終了後には講師に対して質問する姿も見られました。



【筆記競技に取り組んでいる生徒の様子】

(参加した生徒の主な感想)

- ・ チームで取り組むことで、自分とは違う発想が山のように出てきた。6人で協力して問題に取り組むことは今までになく、1人では絶対に得られない楽しさがあった。
- ・ 学習していない分野の学習が楽しみになった。
- ・ 普段の勉強の知識を応用する楽しさを味わえた。



【実験競技に取り組んでいる生徒の様子】

科学の甲子園全国大会

当セミナーは「科学の甲子園新潟県予選」を兼ねています。「科学の甲子園全国大会」は、各都道府県の高等学校等の代表校が、理科・数学・情報に関する筆記競技と実技競技を行い、知識の活用能力や、ものづくりの能力、コミュニケーション能力などを競う大会です。

今年度は、令和 6 年 3 月 15 日(金)～18 日(月)に茨城県つくば市で開催されます。県予選の結果、新潟高等学校が県代表として出場します。

おわりに

本セミナーの実施が高等学校等での探究的な学習の推進につながり、参加者の中から、将来、世界的な研究を成し遂げる人物が現れるよう、今後も取組の充実を図ってまいります。

[お問い合わせ]

高等学校教育課指導第 1 係
電話 025-280-5611

インフォメーション

● 県立万代島美術館 (新潟市)

■ JUNKO KOSHINO コシノジュンコ 原点から現点



展覧会メインビジュアル

世界的ファッションデザイナーであるコシノジュンコの過去最大規模の展覧会。その創造の原点である高校時代のデッサンから、「対極」というデザインコンセプトを通じて創出した世界観、琳派や能との協演など、現在までの活動の全貌をご紹介します。

- 会 期 開催中～5月26日(日)
- 休 館 日 月曜日
(3/25、4/1、4/29、5/6 は開館)
- 開館時間 午前10時～午後6時
(観覧券の販売は午後5時30分まで)
- 観 覧 料 一般 1,600円(1,400円)
高校・大学生 1,300円(1,100円)
中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金。
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。



コシノジュンコ

県立万代島美術館
住所 新潟市中央区万代島 5-1 朱鷺メッセ内
万代島ビル 5 階
TEL 025-290-6655
URL <https://banbi.pref.niigata.lg.jp/>

● 県立近代美術館 (長岡市)

■ 開館 30 周年記念 コレクション展 第 4 期

[展示室 1・2] 近代美術館の日本画の名品

開館 30 周年を記念し、明治時代から現代にかけての日本画の名品を選びすぐって展示します。土田麦僊、小林古径、横山操ら新潟県が生んだ日本画の巨匠の作品をはじめ、竹内栖鳳、鏑木清方、加山又造、千住博まで名品の数々をご堪能ください。



竹内栖鳳《睡郷》1930年〈後期展示〉

[展示室 3] 反戦への思い

戦争に関連する作品を選び展示します。戦争を体験したとき、あるいは振り返るとき、作家の目に映る光景はどんなものだったのでしょうか。寂しさ、悲しさ、虚しさの中から湧き上がる反戦への思いを作品の中を探ります。



オシチ・カメクラ《俺と二人の》1980-1989年

- 会 期 開催中～3月31日(日)
(2月20日～後期展示)
- 休 館 日 月曜日
- 開館時間 午前9時～午後5時
(観覧券の販売は午後4時30分まで)
- 観 覧 料 一般 430円(340円)
高校・大学生 200円(160円)
中学生以下無料

※()内は有料20名以上の団体料金。
※障害者手帳をお持ちの方は観覧料免除。

県立近代美術館
住所 長岡市千秋 3 丁目 278-14
TEL: 0258-28-4111
URL: <https://kinbi.pref.niigata.lg.jp/>

発行所 新潟県教育庁総務課
所在地 〒950-8570
新潟市中央区新光町 4 番地 1
電 話 025-280-5587
F A X 025-285-3766
E-mail ngt500010@pref.niigata.lg.jp
Web 版 URL :
<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/>
本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください
<無断転載を禁ず>

※PDF ファイルで御覧の方は、下線部(Web ページアドレス)をクリックすると、直接該当 Web ページにジャンプしますので御活用ください。
※県ホームページからバックナンバーも御覧いただけます。「新潟県 教育月報」で検索してください。